



町議会だより

お・お・な・ん

No. 95

2025・10・15
(R7)



真剣に意見交換しました

はじめての交流プロジェクト

県立矢上高校 2年生

9月
定例会
特集

今月の
注目！

- | | | |
|---|----------------|-----|
| ■ | 矢上高校との交流プロジェクト | (2) |
| ■ | 令和6年度決算を承認 | (4) |



矢上高校2年生との 交流プロジェクト

矢上高校より、公民科の授業の取り組みとして議会との交流の申し入れがあり、9月議会に対応しました。2年生56名が2組に分かれて決算特別委員会の傍聴を行いました。

後日、27名と議員で小グループになり事前にいただいた質問の中から意見交換を行いましたので紹介します。



議会傍聴

当日は、決算特別委員会が行われ、教育委員会と地域みらい課の質疑を行いました。

- ・子どもの居場所づくり事業費の執行率が低い要因は何か。
- ・子ども条例について、町内の子どもたちはどのように理解しているのか。
- ・邑学館の寮生に指定管理者がアンケートを行っているが、令和6年度の結果はどうか。
- ・邑南町子どもチャレンジ事業はどのような成果があったのか。
- ・瑞穂中学校から矢上高校への進学率が低い理由は何か。

等の質疑と答弁が行われました。



意見交換会



高校生からはこんな意見が

「どのような環境が安心して子育てできるのか、町外の人の意見も参考にしてみてもどうか」「町内にいつでも遊べる公園が必要」「空き家空き地を活用した体験施設は作れないか」「ホームページやInstagramの活用をもっと積極的に」

議会について

「議会だよりを読んでいる若者が少ないのが現状、興味が持てるよう努力はしているのか」「議員のなり手不足では、議員の高齢化で考え方が

「高齢化で農業をやめる人もいる。米作りの技術や知恵を継承していく人を育てる必要があるのではないか」「農業体験プログラムや移住者支援制度の活動は進んでいるのか」等々

古くなっていないか、多様な考え方を持つ若者の受け入れが必要ではないか」



その他こんな声も

「矢上高校への受験率を上げるための中学校と連携を強化してアプローチをしていくべきだ」「町内の施策を知ってもらうには、Instagramなども活用すべきではないか」「邑南町の良い

ところは、過ごしやすい自然環境と住民の人柄がよい」「すれ違う人とあいさつができる経験はいままでしたことがない、邑南町に来てよかったと思えた」

意見交換会後の議員の声

- 質問項目が多すぎたのでテーマを絞ったほうがよかった。
- 議会への関心を深めるよい機会となった。より関心を深めるために高校への配布も考えるべき。
- 読まれる広報にするためにもっと高校生の率直な意見を聞きに行こう。
- 学校側が求める目的に対し、議会側の対応は十分であったか検証しよう。

重点事業は完遂されたか

決算審査

邑南町の財布の中身は？ 財政指標等のようす

(単位：万円)

年度区分		令和5年度	令和6年度	対前年度増減率
標準財政規模		70億1653	70億3034	0.2%
経常収支比率		93.6%	93.5%	△0.1P
健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	—
	連結実質率	—	—	—
	実質公債率	12.5%	12.4%	△0.1P
	(単年度)	12.3%	12.1%	△0.2P
	将来負担比率	89.4%	95.0%	5.6P
職員数		208人	212人	4人
人件費		17億7082	18億7644	6.0%
人件費比率		11.2%	11.2%	—
物件費		13億8237	14億4231	4.3%
普通建設事業費		37億8779	49億5450	30.8%

9月定例会を9月2日から12日までの間で開催し、令和6年度決算を認定しました。決算認定以外の議案は「議案のゆくえ」(9ページ)を参照ください。

決算は、一般会計、特別会計ともすべて黒字となりました。また、6年度から下水道も事業会計に移行しましたが、2843万円の純利益を計上しました。水道事業も195万円の純利益を計上しました。

決算特別委員会を設置

今年度から、決算特別委員会で決算審査を行うことにしました。特別委員会は、議長、副議長、監査委員を除く9名で構成し、委員の互選により委員長に中村昌史委員が、副委員長に野田佳文委員が就任しました。付託を受けた一般会計、4件の特別会計、2件の事

業会計の決算審査は、3日、5日、8日の3日間で行いました。課ごとに重点項目事業を中心に決算概要の説明を受け、質疑を行いました。

質疑終了後に委員間討議を行い、決算認定に関し委員会として付す意見をまとめた後、討論、採決を行いました。結果は、付託された7件の決算全てを認定すべきものとなりました。

また、附帯意見は次の3点で、最終日に意見書案として発委し、可決しました。

①委員会での審査内容や監査委員の決算審査意見書の内容を尊重し、次年度予算の編成にあたること。

②決算資料は数値目標にこだわらず、本来の事業目標を見失わないこと。

③決算審査での準備を怠ら

主な質疑事項

- いじめ対応事業の不用額の内容及、事業執行状況
- 子どもの居場所づくりの進捗状況
- ICT支援員の配置状況

- 食の学校の運営状況
- 子ども条例の具現化の具体的な内容
- 石見中学校の電気代が高額な理由
- おむつ定期便の事業成果
- マタニティベジボックス事業、産後ケア事業の不用額の内容
- 引きこもり支援事業の成果
- 医療福祉関連の人材確保の対応
- 防災備蓄品の備蓄量
- 老朽危険空き家対策の実施状況
- 観光客一括予約サイトの実施状況
- 産直市支援マネージャーの成果
- 農福連携の実施状況
- 木質バイオマス事業の成果
- 有機JAS、有機農業産地づくりの実績
- 木育推進事業の実績
- 子どもチャレンジ事業の町内への効果
- 脱炭素先行地域づくり事業の管理費への影響



持続可能なまちづくりのために バランスのとれた財政運営を

監査報告を行う迫田悦三代表監査委員

迫田代表監査委員の決算審査報告

令和6年度会計別決算収支

(単位：万円)

会 計 名		決 算 額		
		収 入	支 出	差 引
普通会計	一 般 会 計	166億6042	161億8708	4億7334
	電 気 通 信	5億8182	5億6690	1492
	小 計	172億4224	167億5398	4億8826
公営事業会計	国 民 健 険	13億 228	12億9213	1015
	直 営 診 療 所	1億4298	1億3818	480
	後 期 高 齢 者	4億 835	4億 136	699
	小 計	18億5361	18億3167	2194
総 合 計		190億9585	185億8565	5億1020
5 年 度		191億3363	184億7933	6億5430
4 年 度		170億1446	165億9273	4億2173
3 年 度		166億5992	163億6088	2億9904
2 年 度		174億5282	171億7798	2億7484
元 年 度		157億4032	154億6719	2億7313

令和6年度水道下水道事業会計決算収支

(単位：万円)

水道事業	収 入	支 出	差 引
収益的収入・支出	4億 7	3億8504	1503
資本的収入・支出	4億6048	6億5322	△1億9274

下水道事業	収 入	支 出	差 引
収益的収入・支出	7億9411	7億5930	3481
資本的収入・支出	4億7579	6億7717	△2億 140

注) 表の金額は万円単位で表示していますが実際の決算はすべて円単位までとなっています。千円単位で四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

令和6年度はメインテーマ「ひとにやさしいまちへ、さらに進めよう」の下、5つのサブテーマを掲げて編成され、それぞれに重点項目を設定した中で多くの幅広い事業が展開されました。

厳しい財政事情の中、一般会計、各特別会計とも実質収支は黒字を計上しています。しかし、地方債増加による元金償還で、財政の硬直化も懸念され、今後は適切な予算策定と執行を行うなど、財政健全化に向けた取り組みが必要となります。大規模事業が終了する令和7年度以降、地方債残高の抑制により、実質公債費比率や将来負担比率など財

政健全化比率の改善が期待されます。一方で町民福祉の向上や少子高齢化社会に対応した安心・安全なまちづくりなど安定した行政サービスと事業展開も不可欠ですから、持続可能なまちづくりのために、バランスのとれた財政運営が望まれます。また、水道・下水道事業

会計は、ともに他会計補助金など営業外収益の受け入れにより、当期純利益を計上していますが、今後、人口減少や老朽化した設備の更新などにより営業収益の増加は見込めず、財務状況が悪化すること予想され、経営維持のためには、的確な経営分析と経営戦略が求められます。

邑南町の貯金は？ 積立基金のようす

(単位：万円)

基金名		5年度末 現在高	決算年度中増減額		6年度末 現在高
			積立額	取崩額	
一般会計	財政調整基金	11億 877	7046	0	11億7923
	減債基金	20億7953	1億3412	1億8602	20億2763
	まちづくり推進基金	8497	0	6899	1598
	地域振興基金	15億6488	0	0	15億6488
	その他特定目的基金	7億 600	2億1660	2億5528	6億6732
	合 計	55億4415	4億2118	5億1029	54億5504
特別会計	国民健康保険事業基金	1億 489	1139	3572	8056
	電気通信事業基金	1億4431	4655	0	1億9086
	合 計	2億4920	5794	3572	2億7142
総 合 計		57億9334	4億7912	5億4601	57億2646

邑南町の借金は？ 地方債のようす

(単位：万円)

会計名		5年度末 現在高	決算年度中増減額		6年度末 現在高
			発行額	償還額	
一般会計		151億8348	33億8726	14億8420	170億8653
特別会計	直営診療所	1 億7683	840	2233	1億6290
	下水道事業	40億8279	—	—	△40億8279
	電気通信事業	6億1641	2億5570	1121	8億6090
合 計		200億5950	36億5136	15億1774	181億1033

国や県からの歳入財源の推移（一般会計）

(単位：万円)

項 目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
地方交付税	62億3746	59億7932	58億7856	59億2266	62億5339	62億4152	62億6966	62億6553
国庫支出金	7億7809	8億5716	8億3450	24億5458	15億2881	14億1899	18億 63	21億1828
県支出金	8億8716	9億1649	10億2494	10億3522	10億6801	14億8934	10億7504	14億9102

おおなんきり 6年度経営状況は

おおなんきりエネルギー株式会社は、令和4年2月に設立されました。邑南町が資本金の50%を出資する第3セクターで、毎年の経営状況の報告が地方自治法で定められており、9月議会にて報告がありました。

当初から債務超過（負債が資産を上回る）の状況が報告されており、今期、7年3月期で2438万円の債務超過となっています。これは、太陽光パネルの設置費用の内、三分の二は国の補助金が充てられます。

太陽光パネルを設置した
石見浄化センター



すが、三分の一は借入金で賄わなければならないことと、当初は1年目から実施を見込んでいた電力小売事業の認可が遅れたことが原因とされています。

この状況を改善するために、7年3月に経営健全化方針が示されています。それにより、太陽光パネルの設置に長期リースを活用し、施設設置に関する負債額の圧縮を検討しています。

また、発電電力を自家消費するだけでなく、小売電力として活用することで利益率を上げることや、蓄電池の活用も検討しています。そのため、計画変更を現在検討中です。来年度から単年度黒字が見込まれ、13年度以降に債務超過は解消されるとしています。

第3セクターについては、町の責任も厳しく問われます。今後の状況も厳しいチェックが必要です。

邑南の里、石見中学校の工事費財源内訳

事業総額が一人歩きする中、実際に町が負担する金額はいくらなのか、工事費のみの見込金額と財源内訳と実質負担額を掲載します。基本構想等工事費以外にかかった事業費は含まれておりませんのでご注意ください。全ての金額が確定するのは7年度決算を行ってからになります。

邑南の里

	計
工事費	22億6157万円
財源内訳	
国庫	6億9252万円
県費	5億8421万円
起債	9億3520万円
基金	4570万円
一般財源	394万円
計	22億6157万円

工事費に対し国庫支出金の充当、県費、起債（町債）は合併特例債を借り入れ7割は交付税措置されるため

実質負担額
約2億8450万円

石見中学校

	計
工事費	36億6043万円
財源内訳	
国庫	6億4330万円
起債	30億1620万円
一般財源	93万円
計	36億6043万円

工事費に対し国庫支出金の充当、起債（町債）は過疎債を取り入れ7割は交付税措置されるため

実質負担額
約9億600万円

請願・陳情と 意見書

旧JＲ三江線伊賀和志区間の鉄道資産を活用したトロッコ運行の実現に向けた請願書（請願）

採択



産業建設常任委員会
山中委員長

この請願は、特定非営利活動法人江の川鐵道、理事長日高弘之氏から提出されました。

口羽駅公園と宇都井駅公園の間にある旧三江線伊賀

和志駅周辺区間について、三次市とJＲ西日本との協議を通じて活用できる環境を整えてもらいたいというものです。

伊賀和志駅周辺区間の活用により、江の川鐵道の事業の中心であるトロッコの魅力向上に寄与します。また、三次市との連携強化により、江の川流域の広域観光振興及びバス交通の促進等につながります。

て、9年4月以降も免税軽油制度を継続するよう強く要望する意見書を提出しました。

免税軽油制度の継続を求める陳情書と意見書提出（陳情）

採択

この陳情は、アオイテクノサービス株式会社 代表取締役 塩本崇公氏から提出されたものです。

これまでスキー場産業の発展に貢献してきた軽油取引税の課税免除の特例措置（以下「免税軽油制度」という）が、令和9年3月末日で廃止される予定となっ

ています。

免税軽油制度は、元来、道路を走らない機械に使う軽油について、軽油取引税（1リットル当たり32円10銭）を免税する制度です。

索道事業者が使うゲレンデ整備車及び降雪機に使う軽油が免税となっており、この制度がなくなれば索道事業者は大きな負担増を強いられます。

産業建設常任委員会で審査した結果、全員賛成で採択となりました。それを受けて、国に対し

政府に核兵器禁止条約への参加を求める陳情書と意見書提出（陳情）

採択



総務教民常任委員会
奈須委員長

この陳情は、新日本婦人の会邑智支部、支部長、石橋由岐子氏から提出されたもので、政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書の提出を求める陳情で

す。

この意見書提出については、令和3年9月議会に請願として提出された経緯があります。その時点では核兵器のない世界という趣旨には委員全員賛同したものの、その時の世界情勢や、核不拡散条約を批准しているという日本の立場を考え、直ちに核兵器禁止条約に参加することは難しいとして不採択とした。

その後、核兵器使用を示唆したロシアのウクライナへの侵攻等、世界の情勢は急激に変化しており、世界平和が脅かされてきています。そんな中、昨年、被爆者の団体である日本被団協にノーベル平和賞が贈られ、世界的な核兵器廃絶への動きが強まってきました。

今回改めて、提出者の石橋由岐子氏を参考人に招致し、陳情の趣旨を確認したうえで、審査しました。

邑南町は2005年「非核平和の町」宣言をしていることや、「歩こう広島ま

用語解説

介公に紹介をの式紹介員と正議なをが。介体見す。紹団意までが共や。法体公望。て方団方要す。出や地、でと提人やて利願い個関し権請な：機対る：さは府にきは介と政関でとを願、機出情員請し提陳議

で」などの平和行進などを通じて平和活動を行っております。また、今後も被爆者の想いを後世に伝えていくことが求められています。

総務教民常任委員会審査した結果、全員賛成で採択しました。

それを受けて、政府に対し核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提出しました。

討論

令和6年度国民健康保険事業特別会計決算の認定

反対

日高八重美 議員



国保税は前年より増税になり、家族の多い家庭ほど負担は重く、子育て世帯にとっては暮らしに大きく影響する。

決算では1900万円あまりの滞納があり、払いたくても払えない人がいる。加入されている対象者の多くは、農業者や自営業者、非正規雇用のみなさんで、高い国保料を苦勞しながら支払っている人もいます。

誰もが払える国保税へ引き下げるよう求め認定に反対する。

令和7年度一般会計補正予算第4号

反対

日高八重美 議員

商工業振興費の邑南町工アコン等購入支援事業費923万5千円について賛成できない。

物価高騰対策と言いながら、エアコン等の購入に特化した内容では、対象範囲が狭く、全世帯の数%の世帯しか対象にならないというこの補正予算案では多くの町民が納得しない。

この交付金は、地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるように創設されたものだ。

全世帯を対象の施策として誰もが平等に給付が受けられるような内容に検討すべきと考え議案に反対する。

9月定例会議案のゆくえ

決算認定以外の主な議案を紹介します。

「人事案件」は固定資産評価審査委員会委員の選任の同意で、3名の選任に同意しました。

「専決処分（一般会計補正予算第3号）」は、7月豪雨による災害復旧関連予算の補正です。

「職員の育児休業等に関する条例の一部改正」は育児休業法の改正に伴う改正です。

「町営住宅管理条例の一部改正」は、出羽団地を老朽化により用途廃止するものです。

「フィンランド共和国交流派遣貸付基金条例の一部

改正」は、フィンランド共和国交流派遣事業の参加対象者を町内の中学校、高等学校に在籍する生徒から、町内に居住する中学校、高等学校生徒に変更することに伴う改正です。

「一般会計補正予算第4号」は、6年度決算確定に伴う繰越金の増額とそれに伴う財政調整基金繰入金金の減額、町税収入増額による地方交付税の減額が主です。

また、国の補正予算による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金923万円が追加され、この使途としてエアコン等購入支援事業が提案されました。この事業を巡って議論が白熱し、事業の要綱を提出することで一旦落ち着いたことが、採決でも反対者が出ました。

「一般会計補正予算第5号」は、8月豪雨災害復旧関連予算の追加です。

「特別会計補正予算」は、6年度決算に伴う繰越金の増額が主です。

9 月 定 例 会 全 員 賛 成 に な ら な か っ た 議 案

○=賛成、●=反対、－=除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	石 國	奈 須	鍵 本	野 田	日 高	瀧 田	平 野	宮 田	中 村	辰 田	山 中	結 果
認 決 算	令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	認 定
予 補 算 正	令和7年度一般会計補正予算第4号	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	可 決

令和7年度9月補正

	当初予算の額	6月補正後の額	9月補正額	9月補正後の額
一 般 会 計	136億6300万円	135億 201万円	8101万円	135億8302万円
国 民 健 康 保 険	13億 390万円	13億2531万円	1051万円	13億3582万円
直 営 診 療 所	1億4300万円	1億4275万円	238万円	1億4513万円
後 期 高 齢 者 医 療	4億4100万円	4億4100万円	305万円	4億4405万円
電 気 通 信	5億2700万円	5億2700万円	－	5億2700万円
特 別 会 計 合 計	24億1490万円	24億3606万円	1594万円	24億5200万円
総 合 計	160億7790万円	159億3807万円	9695万円	160億3502万円

令和7年度下水道事業会計9月補正

		当初予算の額	9月補正額	9月補正後の額
収 益 的 収 支	収 入	7億6155万円	△451万円	7億5705万円
	支 出	7億6155万円	△451万円	7億5705万円
資 本 的 収 支	収 入	4億8160万円	△1159万円	4億7000万円
	支 出	6億6675万円	△359万円	6億6316万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

※水道事業会計には補正はありません。

いっぱん 質問

質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	奈須 正宜	(1) 2030年国民スポーツ大会 (2) コミュニティスクールの導入	12
2	中村 昌史	(1) 「政策サイクル」の確立に向けて (2) おおなんきらリエネルギの経営状況	13
3	日高八重美	(1) 介護報酬改定の影響 (2) 地域の防災 (3) 意見交換会で出された要望	14
4	鍵本 亜紀	(1) 子育て日本一の町として (2) 新型コロナウイルス健康被害給付金 (3) 産業振興	15
5	山中 康樹	(1) 渇水・熱中症の行政対策 (2) 議会意見交換会 (3) 気候変動と農業の今後	16
6	辰田 直久	(1) 高齢者医療福祉対策 (2) 町政運営の今後	17
7	野田 佳文	(1) 暮らしの課題と対策 (2) 獣害対策	18

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

ガツテン!! 一般質問

一般質問の通告書には、質問事項の欄と質問の要旨（具体的項目）の欄があります。要旨の欄にはいつも具体的に書いていますが、今回質問した獣害対策について、通告した内容（思い）と町が準備した答弁（思い）が違っていました。

一般質問は『ガチンコ』です。さまざまな答弁に対応できるように再質問は幾つか用意していますが、想定外の展開となり、上手く自分の思いを伝えきれなかったことについては反省しています。

町民の声を町に届けるため、提案するからには情報を集めるだけでなく、まずは自ら動いて形にしています。今回の提案は否定されましたが、実践して形にしたことについては活用します。

野田佳文 記

コミュニティスクール 地域住民の理解は

課長 推進の機運を高めていく

なすまさよし
奈須正宜 議員



奈須正宜議員

学校運営協議会設置に当たり、令和7年度導入予定だったが、町民に対する理解を深める必要性があることから、導入を8年度に延期した。

地域住民への理解が重要なポイントになるとされているが、情報共有はできているか。参加の偏りが課題とも言われているが、多様な人材参画を促す工夫についてどう考えているか。

田村学びのまち推進課長

広報等で、コミュニティスクールの取組みについてお知らせする。各地域で子どもたちとの活動に関わる

方に、学習会をし、推進の機運を高めていく。

多くの人材が関わる仕組みを検討する場として、各地域で導入準備会を今後開催予定している。学校運営協議会のスタート以降も、常に熟議を図っていききたい。

奈須議員

中学校区での導入予定について、範囲が広過ぎると危惧する意見を保護者から聞いている。他自治体の例では、小学校区などのモデル校を指定し、検証した後に、中学校区に移行する例が多いが、なぜ中学校区にしたのか。

田村学びのまち推進課長

小中の9年間を一体としてとらえ、学校と地域で子どもたちの豊かな成長を確認しながら実現することと、現在の小中の9年間で通したふるさ

と教育を各地域で取り組んでいることから中学校区にした。

奈須議員

中学校区での導入になると、3、4校が一つとなり学校運営協議会の運営となる。制度にある機能の一つに、校長が作成する学校運営の基本方針を承認とあるが、それぞれ違う学校運営の基本方針がある。どうやって承認をしていくのか。

田村学びのまち推進課長

全体で把握し、小学校は各協議会の支部と考え、支部単位での承認を全体で共有する。

奈須議員

コミュニティスクールと



瑞穂球場で練習をする子どもたち

地域学校協働活動の両者を一体に推進するための方策は。

田村学びのまち推進課長

コミュニティスクールになると、支援から協働に変わり、学校を含む地域みんなで学校づくり、地域づくりに取り組んでいく。既に地域での活動や学校を応援いただいている多くの方、団体がある。それらとの連携の調整役として、公民館主事、各地域に配置している学校支援地域コーディネータを考えている。

奈須議員

学校運営協議会委員と、地域学校協働活動をされる方が重複すると思うが、人材確保はできるのか。

田村学びのまち推進課長

各地域の学校運営協議会をつくる場で協議しながら、多様な方が関われる構成を各地域で協議していきたい。

なかむらまさふみ

中村昌史 議員

公会計の科目仕訳を 日々仕訳に

町長

内部でしっかり協議する

中村昌史議員

議会では、今年から決算特別委員会で決算の審査を行っている。これは、予算審査も含めた政策サイクルの確立をめざすものであり、それに向けて、2点を提案する。

①現在決算資料として提出されている「行政評価シート」の元となる「事業計画シート」を予算編成時に作成できないか。

②新しい公会計のデータを有効に活用するために、科目仕訳を一括仕訳から日々仕訳に変更できないか。

森田財務課長

①現在の事業評価は、当初

予算編成方針で設定した重点項目事業について作成し、予算編成から決算に至る過程に結果を反映させている。

②期末一括仕訳は、財務書類の作成や活用時期が、遅れるという課題がある。

しかし、人材確保、財務会計システムの改修などの課題もあり、導入については慎重に判断したい。

中村議員

町長の言われる業務の効率化、業務内容の見える化にも必要なことだ。町長の見解を問う。

大屋町長

非常に重要な話だと思うが、まずは財務書類の意味や考え方をみんなで理解をすることから始めなければならぬ。

内部でしっかり協議していきたい。

問

おおなんきらり

今後の運営方針は

中村議員

おおなんきらりエネルギー



太陽光パネルを設置した口羽公民館

今後は、電線に接続して売電する事業を考えている。また、蓄電池の活用も考えている。

③令和13年3月期、あるいは、14年3月期を見込んでいる。

中村議員

脱炭素、エネルギーの地産地消という目標を捉えた上で、今後の方針を問う。

答

脱炭素についても理解を得られるよう

大屋町長

事業の進捗状況、経営環境の変化などから適切に計画を見直しながら、50%を出資する邑南町として厳正にチェックをし、議会にも報告していく。

太陽光発電に限らず、脱炭素について町民の皆さんも一緒に関わっていただき、理解していただける仕組みになればと思っています。

①の経営について問う。
①6年3月末の1160万円の債務超過は、当初計画の時点から見込まれていたのか。
②経営改善のために検討中の計画変更の内容は。
③債務超過はいくつ解消されるのか。
秋田町民課長
①当初計画では、電力小売り事業による売上げを1年目より見込み、4年目には借入金返済が終わると見込んでいた。
②現在の事業計画では、太陽光発電設備で発電した電力は、自家消費することのみとしている。

介護事業所 どのように支援をするのか

ひだかやえみ
日本共産党 日高八重美 議員

町長 まずは人材確保だ



日高八重美議員

昨年度の介護基本報酬引き下げや人手不足により、町内の事業所の運営は大変厳しい状況と聞いている。

法人内で努力されているが、町内の福祉サービス事業所の課題や実態についてどのように受け止めているのか。

坂本医療福祉政策課長

基本報酬引き下げの影響もあるが、訪問介護の場合、人員不足のために指定基準を満たす人員確保に苦慮されている実態である。

高齢化で施設入所が増え訪問介護の利用登録件数が減っても、基準通りの人員

配置をしなければならぬ厳しさがある。各事業所で努力されているが人材確保が難しい。

日高議員

2040年頃には、高齢者数がほぼピークに達すること、介護職員の不足が深刻化する。

安心して住み慣れた地で過ごしたいと願う住民が必要な介護サービスを利用したくても利用できないのではないかと不安を持たれる。町はどのように受け止めているのか。

大屋町長

基本報酬は下がったが、事業所の努力に対し加算措置が取得できるよう検討し応援をしていく。

町内全般での人材確保は大きな課題だ。外国人材の育成、高校生のキャリアアップなど商工会との連携や介護職員初任者研修の活用等で、持続的に人材確保と事業所運営が繋がるよう今後協議をしていく。

問 防災への取り組みは

日高議員

避難所生活では、トイレやトイレ関連の整備は命に関わることにつながる。トイレの数など昨年度からどのくらい購入されているのか。

災害用備蓄品は計画的に購入し整備しておく必要があるのではないか。

また、定期的に関係部署との防災訓練は必要ではないか。

答

防災訓練は協議していく

高瀬総務課長

非常食、飲料水、生活用



県道なのに白線がない!?

品などは県備蓄計画の算定で準備を進めている。

トイレ関連用品、衛生用品は非常食に比べ十分に備蓄ができていないので優先的に購入を進めていく。町主催の防災訓練の計画はないが、今後内部で協議をしていく。

その他の質問

日高議員は、今年夏の渇水時は町民に寄り添った対応であったのか問いました。また、県道、町道の消えかかっている白線や、横断歩道、公共施設の駐車場の白線についても迅速な対応を求めました。

かぎもと あ き
鍵本亜紀 議員



マタニティベジボックスの米 白米にしたのはなぜか

町長

特殊精米した米を全面に出した事業ではない

鍵本亜紀議員

昨年の10月から始まった、マタニティベジボックス事業では、特殊な精米方法で加工された玄米同等の栄養価があるお米を妊婦さんに提供されていたが、今年度は白米になっている。

期待する健康面での効果はかなり低下すると思うが、そこは重要ではないのか。

岩井保健課長

特殊精米はある程度まとまった量が必要であり、提供するまでの期間が長くなり、米の風味や食感が失われる。この事業は、妊娠期

において野菜摂取量、栄養バランスのとれた食生活習慣の確立と、生産者が間接的に関わることで、地域で子育ての機運の醸成を目的としている。白米でも事業の目的は達成できる。

鍵本議員

長期間保存できないなら、保育園や小中学校の給食、高齢者施設でも使い量を増やせばいい。この特殊精米加工米は農水省の方でも健康志向で注目される米として紹介されている。精米加工技術会社との連携協定で、妊婦や子ども達への給食にこの米を取り入れている自治体では、健康効果の実績が出ている。

母というものは、お腹に命を宿すという重大任務や周りの期待、自身の体の変化にも対応しながら、大変な試練を受けている。そんな妊婦にとっては、健康志向の米を町からプレゼントしてもらえということに、とても大きな意義があると思うがどうか。

大屋町長

特殊精米した米を送る事業ではない。地元米と野菜と卵で豊かな食生活を送ってもらおう。子ども条例の趣旨に則って、地元の生産者、直売所の人たちが関わってみんなで応援していく事業だ。

鍵本議員

6年度は特殊精米した米を配っていた。6年度決算によると、この事業の達成率は40%だ。妊婦の数が少なかったからと聞いたが、この先妊婦が増える可能性も低い。今年度の予算は6年度に比べ少なめ設定かと



どんな人も母から産まれてきた

は思うが、達成できるのか。納得できる説明を。

大屋町長

事業目的と実績は別だ。特殊精米した米を全面に出した事業ではない。

その他の質問

鍵本議員は、その他に、新型コロナウイルス健康被害救済制度についてと、有機農業の進捗具合、邑南町のめざす有機農業とはどんなものか、多様な農業の理解について質問しました。

異常気象対策 町民の安心・安全を問う

やまなか やすき
山中康樹 議員

町長 調査と対策は行った

山中康樹議員

6月の一般質問では、大屋町長は裏付けのない夢は言わないと答弁されたが、期待を持てる町政、みんなが安心できることを執行部として考えるべきだ。

9月に入っても異常な暑さが続く中、農業への高温障害や農産物の品質低下、収量減や畜産への影響が懸念される。行政が対策を講じ実行すべき時期にきていると考える。

行政報告では、7月30日から本町において渇水対策、熱中症対策の対策会議が開かれ、対応にあたった旨の説明があった。改めて



担当課より、対策会議における具体的な内容について答弁を求める。

白須副町長

7月3日の企画調整会議で現状把握と対応を指示、7月30日、8月4日に、渇水対策会議を開催し現状報告と対応等の協議と情報共有を行っている。

三浦水道課長

邑南町内には21か所の浄水場があり、渇水に伴い7月4日と7月30日に、浄水場の取水施設の現況調査を実施した。2か所の浄水場において、取水量が通常の50%から70%と低下していた箇所があったが、供給については浄水場の供給区域の切替え等を行い、通常時と変わらないよう対応をした。

小笠原産業支援課長

農業関係での対応は、対策会議で渇水の状況や影響等を把握し、7月28日付けで、8月8日を期限に各集落へ状況調査を依頼し情報を収集し共有した。

渇水の有無や程度は、集

落によってまちまちな状況だ。渇水対策に活用できる補助事業等の情報をホームページで全町に周知した。

坂本医療福祉政策課長

高齢者世帯の熱中症対策について、6月に民生児童委員協議会定例会で熱中症予防のチラシを配布した。7月30日の対策会議以降、民生委員による声かけ訪問を行っている。

大屋町長

私からの指示は、町として水道も供給しているので調べて不足であれば確保を要請した。

羽須美地域で1件、水が枯渇した報告を受け支所で

対応をしたと確認した。

山中議員

意見交換会でも、農業用水が無く諦めている方もおられた。なぜ役場は見えて歩いてくれないのかと苦情があった。私も渇水対策がされているのはこの会議で初めて聞いた。渇水対策もしくは熱中症対策本部をなぜ作らなかったのか。

大屋町長

対策本部をつくり、会議し公表することで安心感に繋がるのであれば、少し考えさせてほしい。



水が枯渇しひび割れた田んぼ（瑞穂地域）

たつたなおひさ

辰田直久 議員

資格取得の学校や機関の新設を

町長 検討する

辰田直久議員

デイサービスや訪問看護の需要と供給の状況は、

坂本医療福祉政策課長

サービス内容や回数は変更になったが、概ね調整ができています。

辰田議員

サービス事業確保のための障害は何か。

坂本医療福祉政策課長

介護現場を支える人材確保や町の面積の広さが障害になっている。

辰田議員

民間の有資格者や経験者、また遊休施設の活用による事業化は可能か。また、

それらに行政支援はできるか。

坂本医療福祉政策課長

条件を満たせば事業化も

可能だが、自治体との委託契約や邑智郡事務組合との事前調整が必要である。また、特に補助金などの財政支援はない。

辰田議員

国や県に働きかけ医療福祉資格者の育成機関を設ける考えはないか。

坂本医療福祉政策課長

先ず医療福祉職への興味を持つてもらうことに取り組みたい。

大屋町長

地方では生徒確保が難しく、人口の課題と人材育成という面で実習機関の確保等でマッチングを検討したい。

大屋町長

問

今後の町政運営の方針は

方針は

辰田議員

就任1年を振り返っての感想や反省点は。

答

町民の提案・提言を参考に

大屋町長

町民生活に身近な部分に関する一般質問も多くなってきたおり、協働のまちづくりに多くの人が関わられるようにすることが反省点であり、今後の思いでもある。

辰田議員

人事管理における内部統制の進め方の考えは。

大屋町長

業務や引継ぎの手順を明確にして業務量や職員の負担を減らしたい。

辰田議員

さまざまな事業連携は、何を優先して対応するか。

大屋町長

災害や観光等の連携が存在するが、期限を定めて連携の改廃を提案したい。

辰田議員

令和8年度事業（予算）はどのような視点を中心に取り組む考えか。

大屋町長

定住対策や人材確保、産業振興、可処分所得の向上を含め、生活に密着している部分を応援する。中小の農林商工事業者を応援するとともに、町民からの提案や職員の提言も参考にしたい。



今年度より受け入れを中止した社協の石見デイサービス

の だ よ し ふ み
野田佳文 議員

除雪の手伝い町の対策は

課長 より広い周知を講じる



野田佳文議員

高齢者世帯を中心に課題となっている除雪対策は、

坂本医療福祉政策課長

支援を必要とするひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯、障がい者世帯などに対しては、町社協が地区社協や自治会、除雪ボランティアの除雪対応状況を把握し、相談があれば、除雪の調整を行うなど、地域の皆さんの協力をいただながら、支援を行っている。町としては、地域の取組みについて、関係課、町社協等と連携し、支援する必要性を感じている。

また、例年

降雪の時期には、民生委員

の皆さんに除

雪対応一覧表

を配り、地域

の除雪対応の

周知を図って

いる。除雪の

手伝いが必要

とされる方に

活用していた

だけけるよう町

社協と連携を

図り、より広

く周知できるよう対策を講

じる。

野田議員

広報おおなんやチラシを作成し周知をしてはどうか。

坂本医療福祉政策課長

今までのやり方を見直す必要がある、検討する。

野田議員

買物困難者の増加を踏まえ、移動販売や支援のあり方などの対策は。

坂本医療福祉政策課長

地域みらい課、保健課、医療福祉政策課、町社協が



獣害対策についても学べる農園

定期的に開催している政策会議で、買物支援についても地域の現状や課題を把握し、必要であれば対応をする。

田村地域みらい課長

商店などへの移動に、タクシー利用助成事業や羽須美テマンド運行の利用が対策のひとつになる。

問

獣害対策を

学べる場を

野田議員

地域全体で一体となり獣

害対策に取り組むことが難しくなりつつある。個人でも対策を進める必要がある。

小笠原産業支援課長

個人個人が適切な対策をすることや有害鳥獣について学び、意識を醸成することとも地域ぐるみで効果的な対策をする上で重要だ。

野田議員

電気柵の設置方法など獣害対策について学ぶことができる体験場を町が主導して作ってはどうか。

答

作らなくても

応えられる

大屋町長

出前講座もあり、設置方法についても相談できる。講師をお願いする方法もあり、作らなくても希望に応えられる。

産業建設常任委員会

町内の進出企業を視察

令和7年8月19日に町内の進出企業の現状を把握するために、進出企業会に所属する6社に視察を行いました。

(株) 太田鑄造所

鑄造、塗装など、国内の船舶部品需要の大部分をシェアされており、海外にも工場を構えておられます。

(株) 瑞穂工業

マツダ車と共同で自動車部品の開発、設計、製造を行っています。製造ラインを、説明を受けました。

(株) ツチヨシ産業

鑄物製造に欠かせない中子の生産と、この原料となる砂の開発、販売、リサイクルに取り組んでおられます。会社概要などの説明を受けました。

(株) ワイテック

自動車部品などの開発、製造をされており、全社で世界中のマツダ車の8割の部品を製造されています。

(株) トリコン

主に砲弾型LEDランプという電子部品を製造されています。

高品質小ロットへの対応が強みで、同業者の撤退が進んでいるため需要も高いそうです。

いっいの村しまね

夏場の来客が落ち着いたタイミングで、館内を見学

し、役員の方と意見交換をしました。

どちらの企業も、安全配慮はもちろん、品質改善や向上、従業員の働きやすい現場を目ざして日々取り組まれており、活気ある活動をされています。

各企業共、未来を描きながら意欲的に業務に取り組んでおられ、感銘を受けました。

それぞれに課題を抱えておられますが、共通しているのは人手不足です。各社共、外国人労働者の雇用も進んでいるようです。

そして、将来を見据え、町内各学校の児童生徒さんに、見学や体験に来ていただき、興味を持ってもらいたいと伺いました。

邑南町の産業を知り、人に出会い、大変刺激を受けました。今後も連携し、協力していきたいと思います。

三階席

2017年7月復活以来、さまざまな議員が世相を反映してコラムに投稿してきた。

今、石破政権が1年余りで終了に。自由民主党の総裁選びに向かっている。山陰出身で、地方創生を掲げた石破総理には期待された方も多かったろうが、国民の声に真摯に耳を傾けられなかったことは悔やまれる。

次期総裁はこの議会、たより発行時には決まっているだろうが、どなたであろうと、国民の声に耳を傾け、国を確かな方向に導ける方を望む。

町政も然り。大屋町政1年。町民の皆さんの声に耳を傾け、町の課題解決、町民の幸せ実現に向けたかじ取りを行政・議会が手携えて努力していきたいものだ。

平野一成



太田鑄造所を視察する委員

広報公聴常任委員会

岡山県美咲町を視察

令和7年8月6日に、広報公聴活動を議会の取り組みとして活発に活動されている美咲町へ視察研修に行きました。

美咲町では、町民に開かれた議会をめざし、子ども議会や議員養成講座など先進的な活動をされています。その内容と手法を尋ねました。

広報活動では、ケーブル

テレビなどの地元メディアや、インスタグラム、YouTubeなどのSNSを活用されています。

小学6年生や中学生が議会の仕組みを学ぶ模擬議会を行い、次世代に向けての

主権者教育をされています。

町民に向け、希望者対象の議員養成講座を開講し、一年かけて議会とは何かを学び、最後に模擬議会を体験する取り組みをされています。

併せて、出前議会として、町内のPTAや地域おこし協力隊などの団体に向いておられます。

議会に関心を持ってもらい、若い世代の議員が増え、時代に合わせて変革していくかねばと、取り組まれています。

また、議員のなり手不足の対策として、議員報酬の改定に努力されています。報酬審議会は現状維持を答申されたそうですが、諦めずに取り組むと言われているようです。

議員のなり手不足や、町政への関心不足などへの危機感は、本町も同じです。美咲町の活動を参考に、議会広報公聴活動に結びつけていきます。



美咲町議会では意見交換を行う委員

第18回 意見交換会を開催しました

今年も皆さんからたくさんのご意見・要望が寄せられました。

一部ですが、出されたご意見を紹介します。

- 今夏の渇水時になぜ情報を集めようとしなかったのか。対策本部を立ち上げなかった理由は。
- 邑南の里2階を活用して地域文化の発信を12公民館と連携し、行政主導で進めてほしい。
- 邑南の里の運営について、指定管理者任せにせず、行政も責任をもって関わること。
- 邑南の里の管理費について町民が理解しやすいよう透明性を高めるべき。
- 町内企業の高卒採用状況を調査すべきではないか。
- 小中学校の在り方検討会は、なぜ地元住民や保護者を交えた検討会にできなかったのか。
- おおなんきらりの経営状況はどうなのか。
- スマホやアプリを活用した独居者の見守りをしてはどうか。
- 邑南町の石州瓦と白壁の景観をまもるために景観条例が必要ではないか。
- ユーチューブを活用し議会に関心が持てるようにしてはどうか。
- 渇水時、議会も地域の状況を確認することをしなかった。危機感がない。



高原公民館での意見交換会



新委員長 山中委員

8月18日に行われた産業建設常任委員会において、瀧田委員長が委員長辞任の意向を示し、許可されました。新委員長選出にあたり、山中委員が委員長に互選されました。

議会人事

など、多くのご意見・要望をいただきました。各公民館では意見内容について対応した経過の説明がないとのご指摘もあり、これまでの対応が不十分だったことを反省し、これらの項目を整理してご返答できるよう取り組んでまいります。

9月議会では、高校生以外に延べ15人の傍聴がありました！
貴重なご意見をありがとうございます。



- ・「政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書の提出を求める」陳情の討論、採決の結果を確認するために傍聴に来ました。採択されたことはうれしく、意見書の読み上げには感動した。
- ・議案の討論、採決では、議案ごとの繰り返して聞く方は退屈する。国会のように賛成、反対の討論が活発にされと思っていたので拍子抜けした。真剣に考えているのか疑問に思った。

傍聴席の声

- ・核兵器禁止条約に関する陳情の採択は当然のことだと思うが、なぜ4年前に不採択になったのか。議員は市民の思いをしっかりと受けとめてほしいと思った。
- ・閉会するまで傍聴したのは初めてのことが、発委まで興味深く聞くことができた。
- ・また違う日程の時に傍聴に来てみたい。
- ・一般質問ではないので、執行部とのやり取りがなく物足りなさがあった。



議会の傍聴にお越しください

12月定例会は、12月2日からの開催を予定しています。
一般質問だけでなく、全員協議会などすべての議事が傍聴できます。お気軽にお越しください。

お問い合わせ先
議会事務局

TEL：0855-95-1113
I P：050-5207-3021

ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご意見、ご質問などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

広報公聴常任委員会

委員長 日高八重美
副委員長 石國佳壽子
委員 中村 昌史
瀧田 均
鍵本 亜紀
奈須 正宜



このQRコードから
スマホでも
ご意見が
寄せられます

交流プロジェクトを終えて

あなたの
声

矢上高校社会科担当

はら かずし
教諭 原 和志 さん



初企画の矢上高校生との交流プロジェクトを企画された原和志先生に伺いました。

Q 議会と矢上高校の交流プロジェクトを計画したきっかけは。

主権者教育と教科書の知識を活用・研究する機会を与えることや、全国的な議員のなり手不足、今回の邑南町選挙の結果を踏まえて、議会について生徒に聞いたところ、議会は何をしているところなどの声があり、危機感を感じ授業に取り上げて考えることとしました。

Q 実際に生徒さんが傍聴に

来られた反応は。

町のことだけでなく、矢上高校のことも議論していることから、地域に支えられていると感じました。

また自分たちも、町のことを考えるきっかけ

作りになりました。

Q 初めての交流プロジェクトを終えて、今後生徒たちに望むことは。

今後は、議員さんに任せただけではなく、町づくりに対して、当事者意識をもって生徒も考え行動しているってほしいです。

Q 先生が今後邑南町に望むことは。

日本一の子育て村など色々施策がありますが、これが邑南町だ！という取り組みを推し進めていっても



旧三江線鉄橋をバックに原先生とご家族

raitaiです。

とても住みやすい町だと感じています。

今回は、初めての議会と矢上高校との交流プロジェクトで、私たちも先生も手探りの中から始まりました。今後も、原先生と情報共有しながら矢上高校との交流プロジェクトを続けていくことで、今以上に議会や邑南町に興味を持ってもらえる活動ができたらと感じました。

聞き手 奈須正宜

編集室の
窓



今回、矢上高校から依頼があり、広報公聴常任委員会が主体となって、議会の傍聴と意見交換会を初めて開催しました▼高校生からの質問の中に、議会広報についての質問も多々あり、一度も見たことがない生徒さんもおられ、若い世代にも興味や関心が得られる議会広報づくりを心掛けていきたいと感じました。今回の9月議会だよりは、矢上高校生との特集を2ページにわたり掲載しています。高校生の活発な意見に、なるほど！と、違う世代の視点や気づきが刺激になりました▼少しでも町政に興味を持っていただけるよう、引き続き多世代との意見交換会の実施や、広報紙面の編集に力を入れ、「わかりやすく開かれた議会広報誌」にしていけたらと思っています。

(奈須正宜 記)